

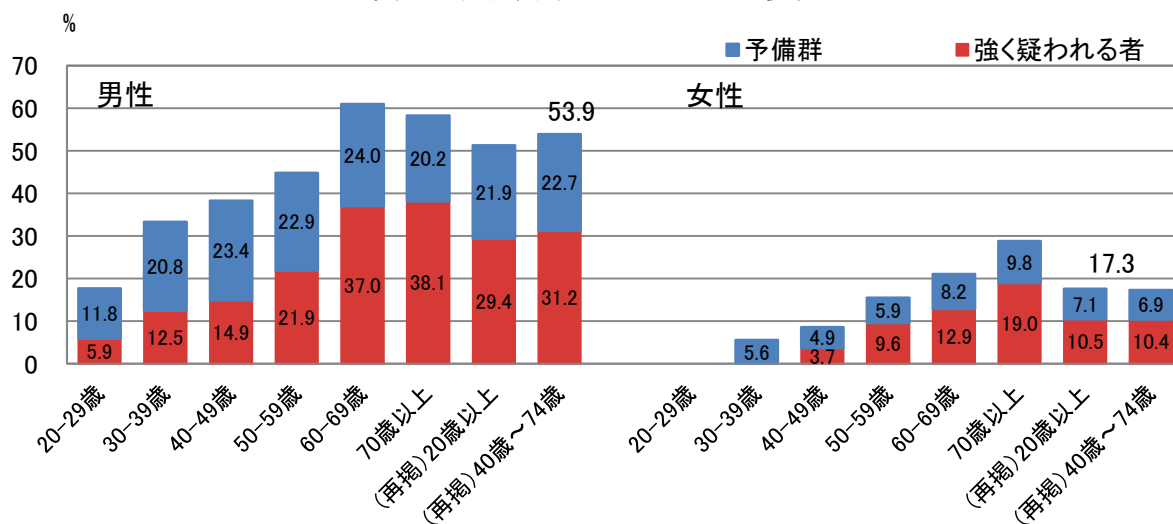
## II 結果の概要

### 第1部 生活習慣病及び肥満の状況

#### 1-1 メタボリックシンドロームの状況

メタボリックシンドロームについて、「強く疑われる者」と「予備群」を合わせると、40～74歳で男性では53.9%、女性では17.3%となっています。

図1 メタボリックシンドロームの状況

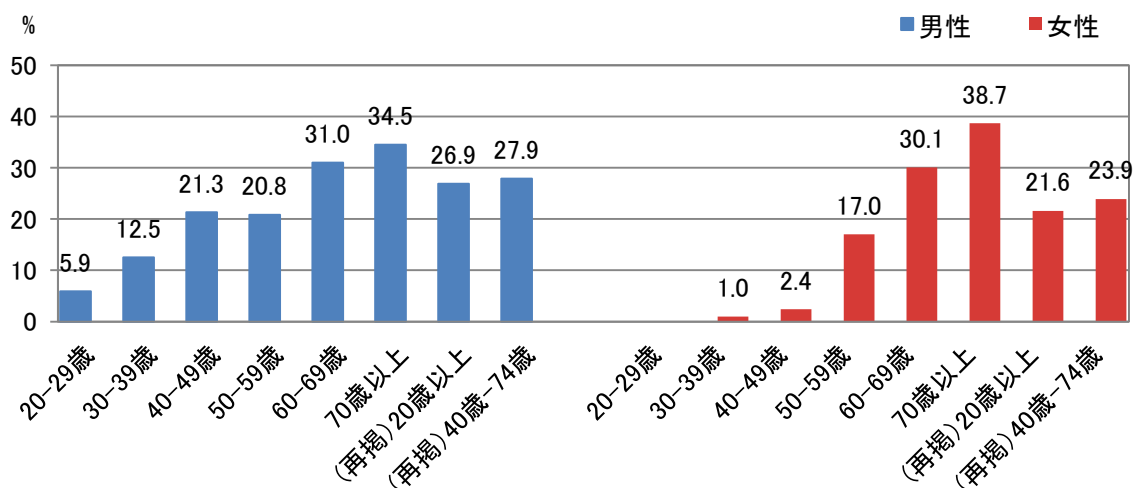


P61 2-18 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群の状況)

#### 1-2 脂質異常症の状況

脂質異常症については、「疑われる者」(\*)が、成人男性では26.9%、成人女性では21.6%となっています。女性では50歳代から増加し、男女とも60歳代から30%を超えています。

図2 脂質異常症が疑われる者



(※) 本調査では、空腹時採血が困難であるため、脂質異常症の診断基準である中性脂肪による判定を行わず脂質異常症が「疑われる者」をHDLコレステロールが40mg/dl未満、もしくはコレステロールを下げる薬または中性脂肪を下げる薬を服用している者とした。

P65 2-22 「脂質異常症が疑われる人」の状況表を参照

総コレステロールの分布については、成人男性では220mg/dl以上の人  
が25.9%、成人女性では45.5%となっています。

図3-1 総コレステロール 分布  
男性(20歳以上)

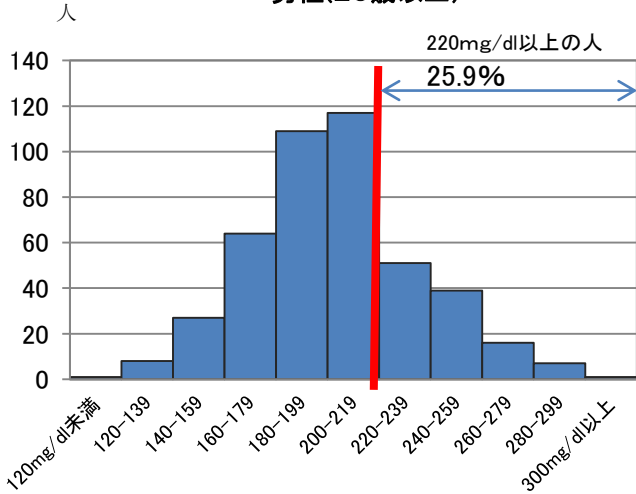
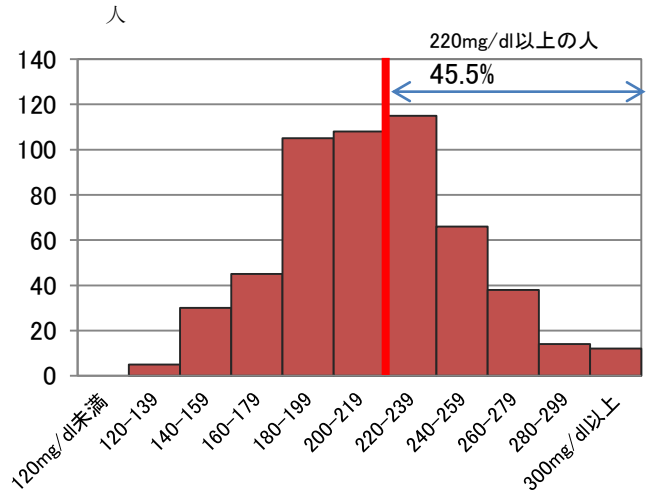


図3-2 総コレステロール 分布  
女性(20歳以上)

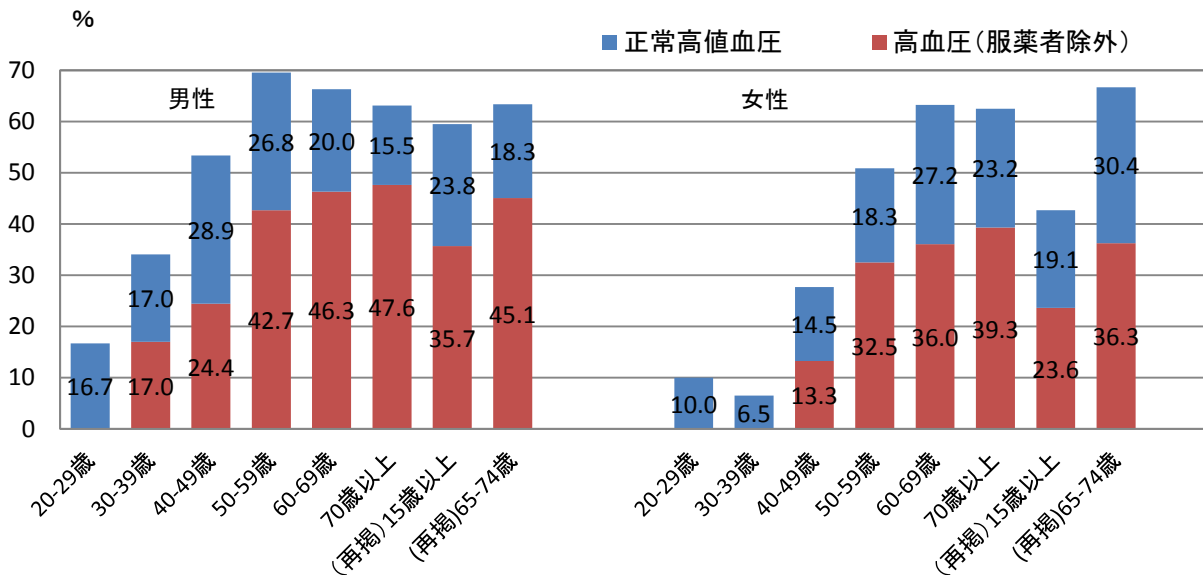


P55 2-12 血清総コレステロール値の分布の表を参照

### 1-3 高血圧の状況

高血圧（服薬者除外）の割合については、男性では30歳代から、女性では40歳代から  
10%を超えています。

### 高血圧の状況

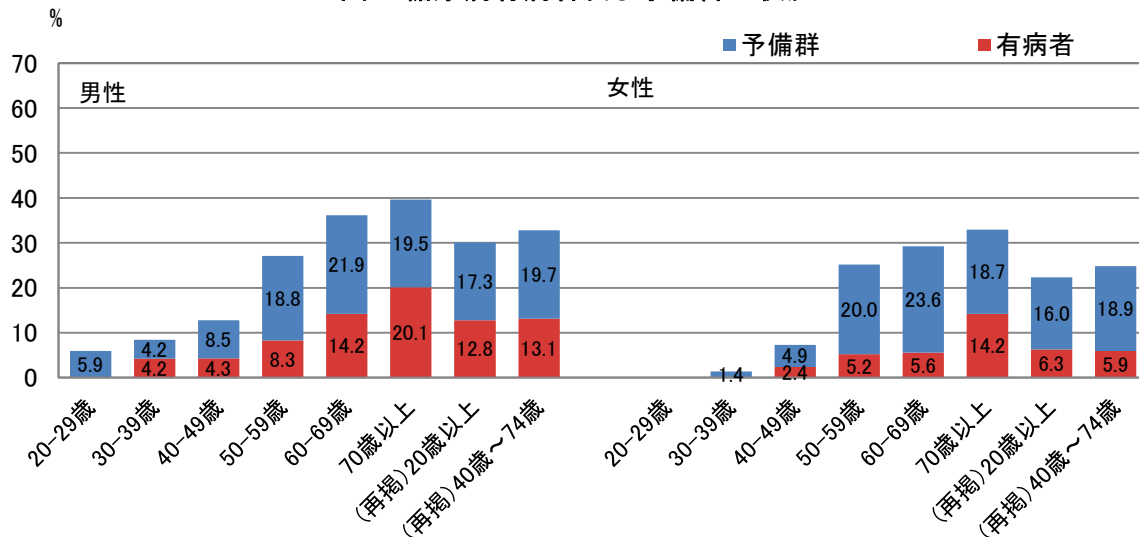


P64 2-21 高血圧症有病者の状況の表を参照

## 1-4 糖尿病の状況

糖尿病について、有病者の割合は、成人男性では12.8%、成人女性では6.3%となっています。予備群の割合は、成人男性では17.3%、成人女性では16.0%となっており、男女とも50歳代から増加しています。

図5 糖尿病有病者及び予備群の状況



有病者: HbA1c 6.1以上であるか、インスリン注射使用・血糖を下げる薬を服用している者。

予備群: HbA1c 5.5以上 6.1未満の者。但し、インスリン注射使用・血糖を下げる薬の服用者除外。

ヘモグロビン A1c の分布は、5.6%以上の割合が、成人男性では17.1%、成人女性では12.8%となっており、男女とも40歳以上で増加しています。

図6 ヘモグロビンA1c値の状況(20歳以上)

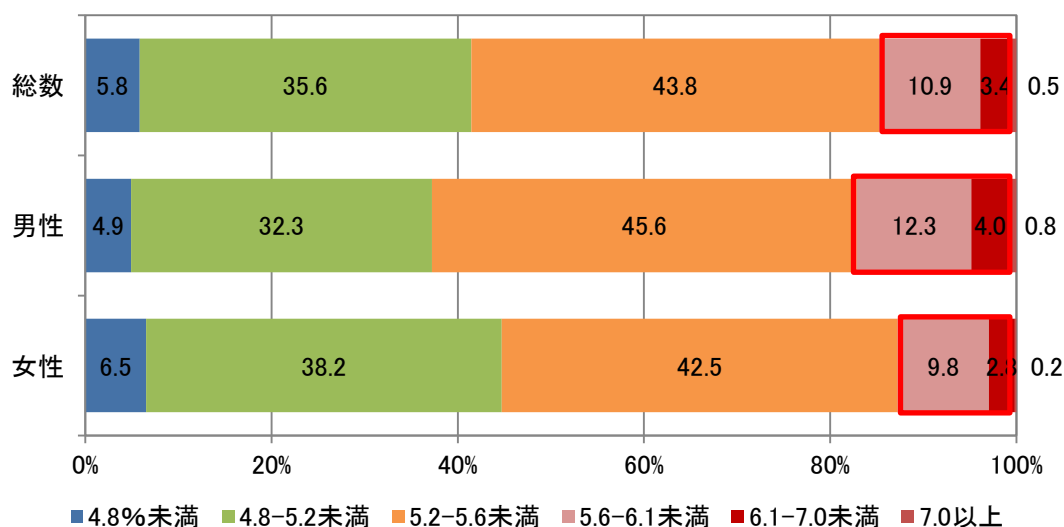


図7-1 ヘモグロビンA1c値の状況(男性)

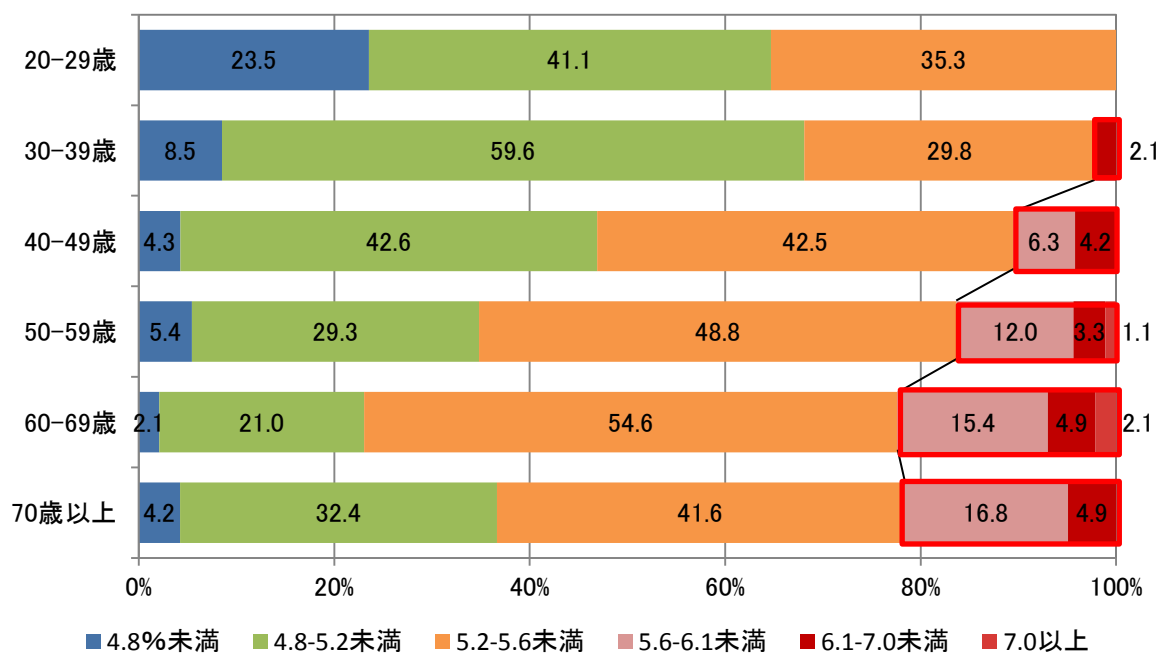
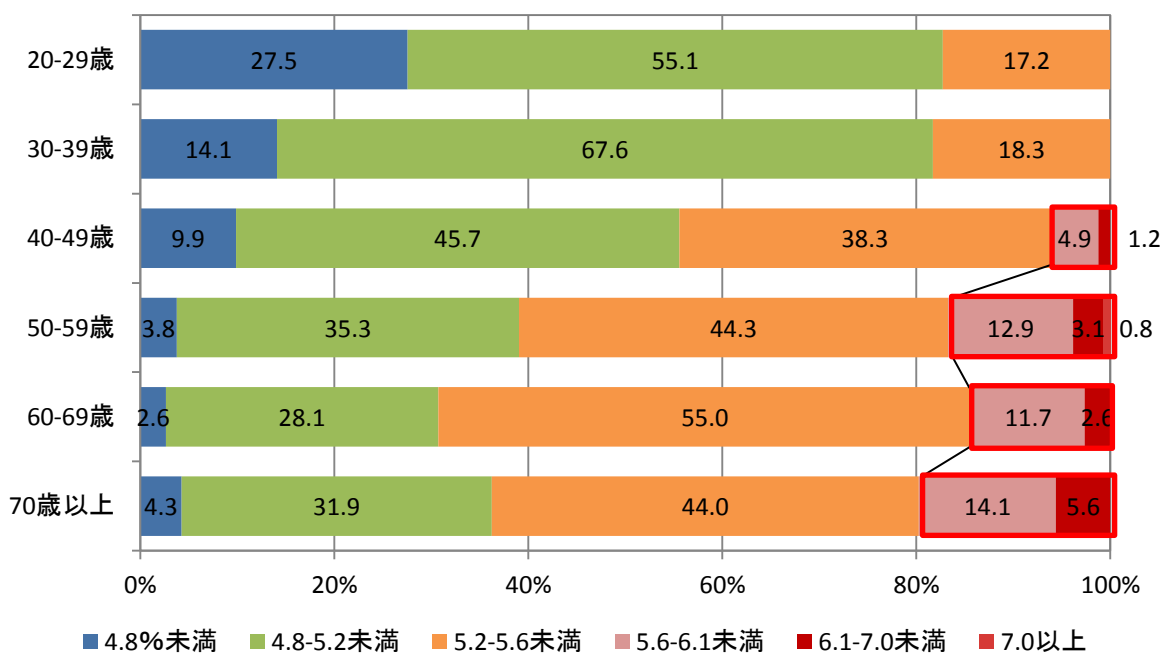


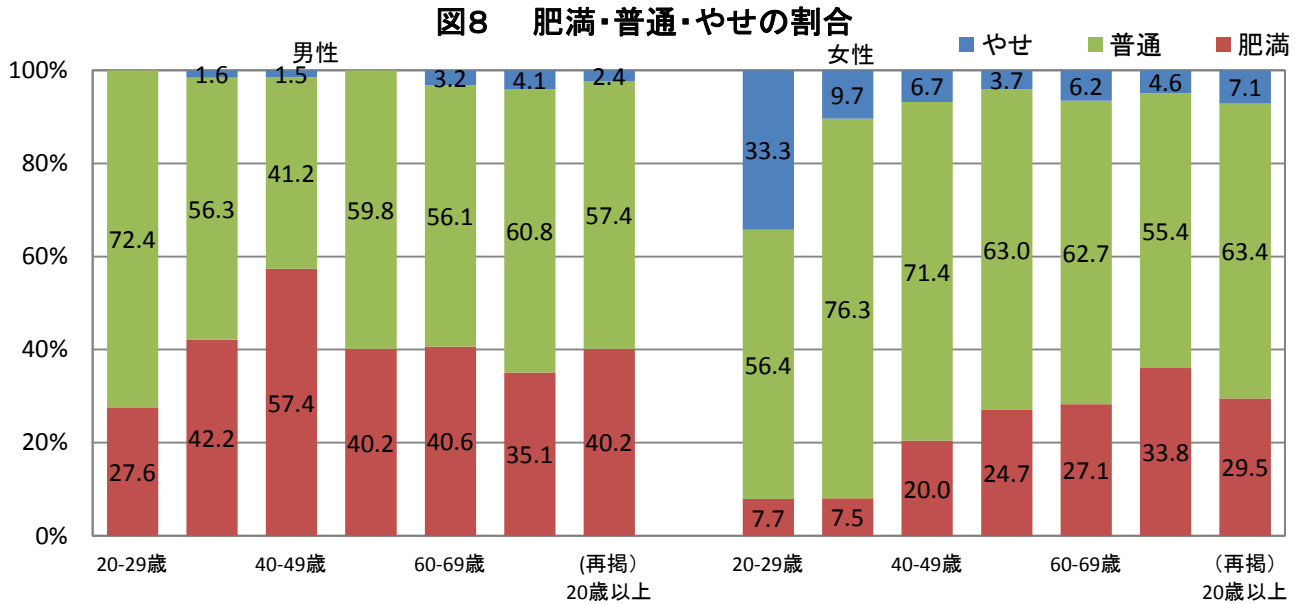
図7-2 ヘモグロビンA1c値の状況(女性)



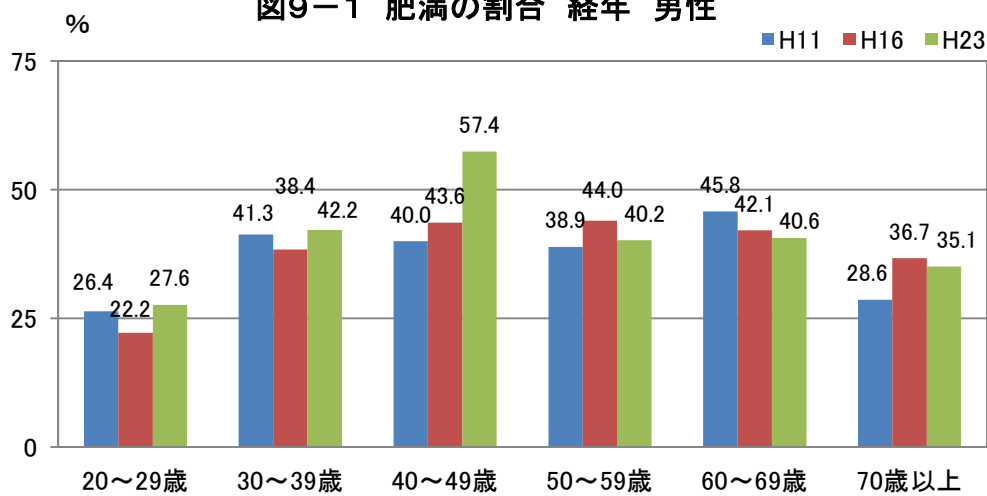
## 2 肥満とやせの状況

### 2-1 肥満の状況

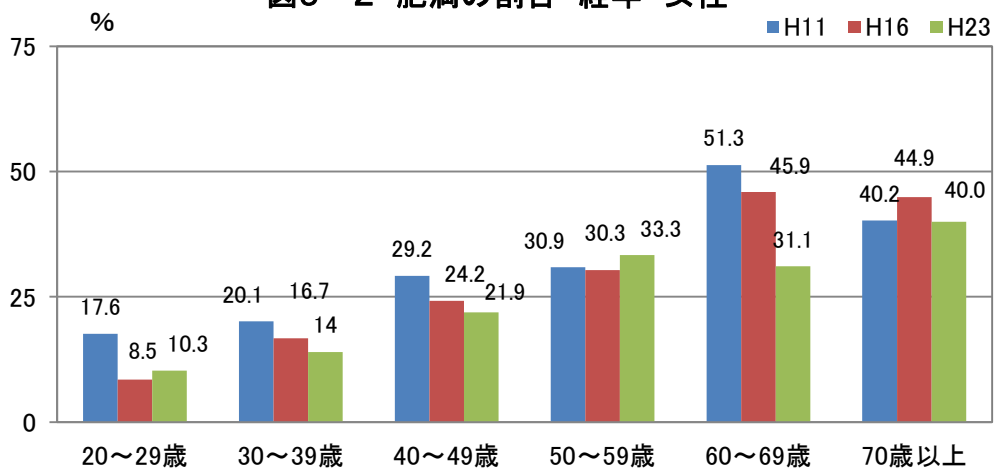
肥満の状況については、成人男性では40.2%、成人女性では29.5%となっており、肥満の割合は男性が高く、やせの割合は女性が高い傾向にあります。



**図9-1 肥満の割合 経年 男性**

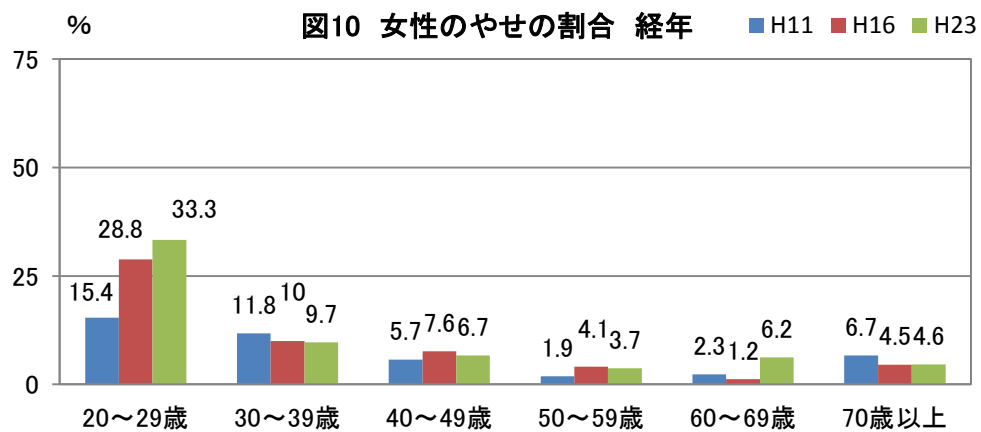


**図9-2 肥満の割合 経年 女性**



## 2-2 やせの状況

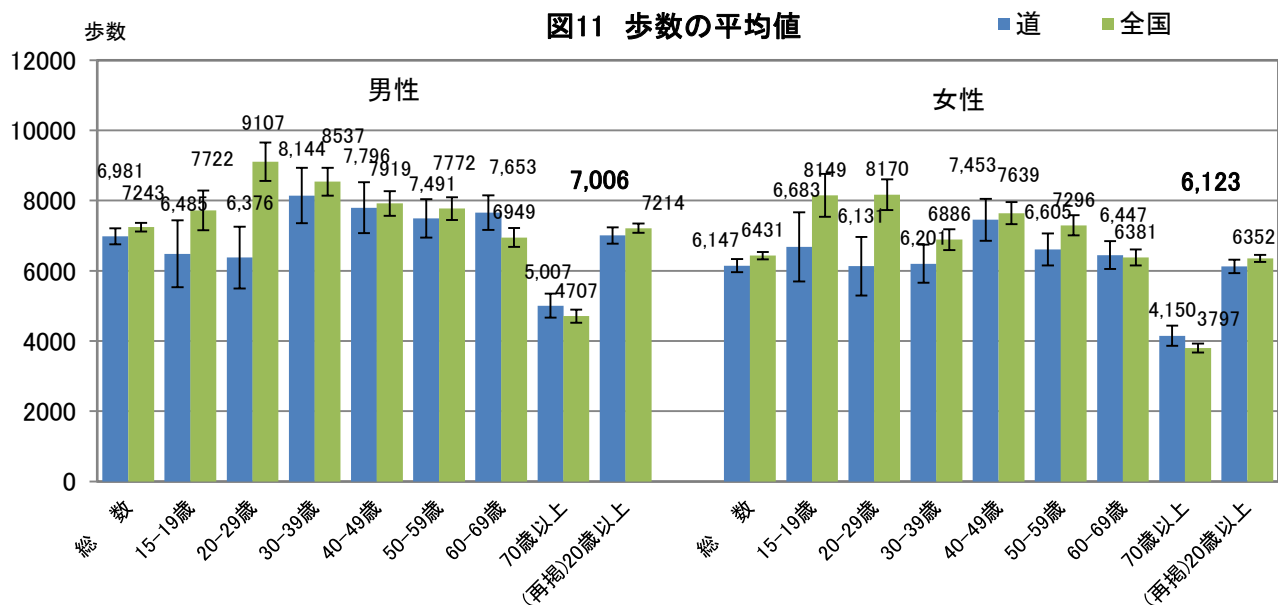
やせの状況については、20～29歳の女性で平成11年に比べ増加の傾向にあります。



## 第2部 歩行数及び運動習慣の状況

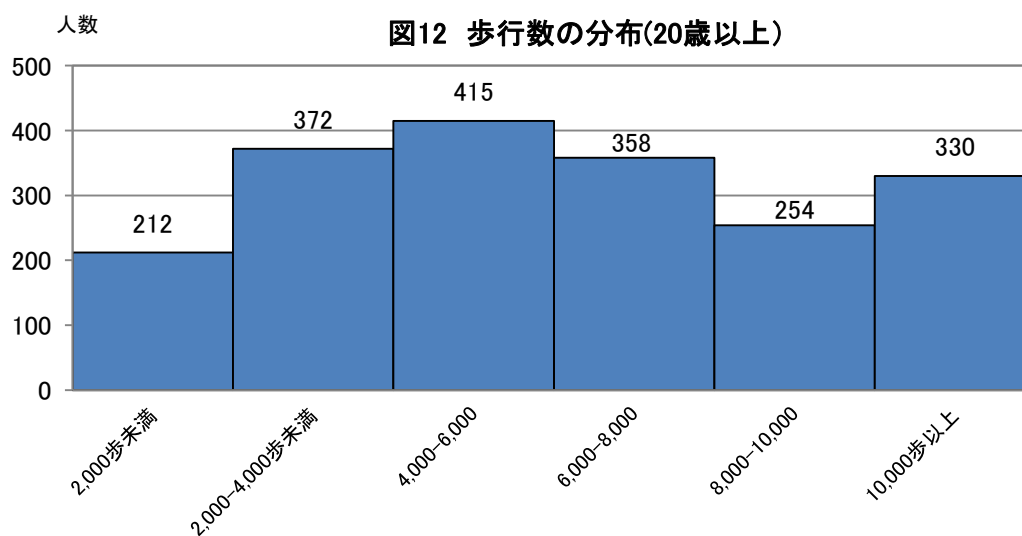
### 1 歩行数の状況

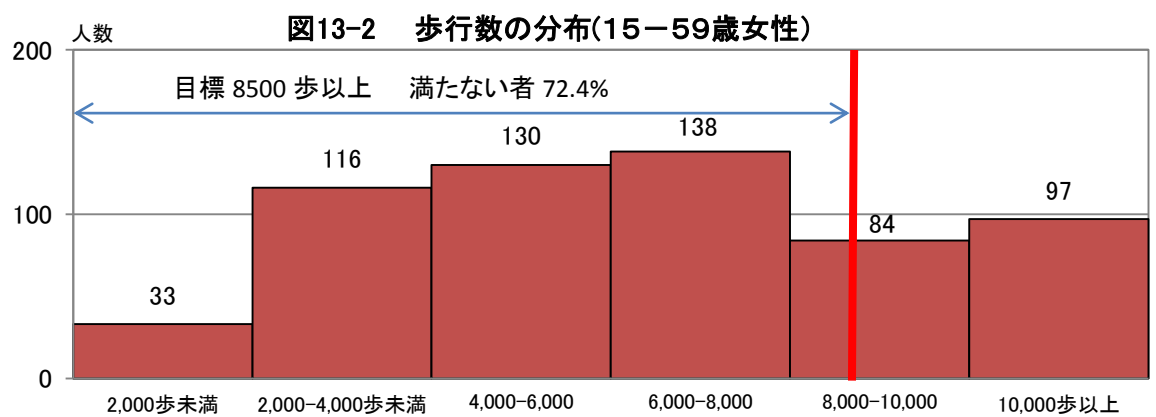
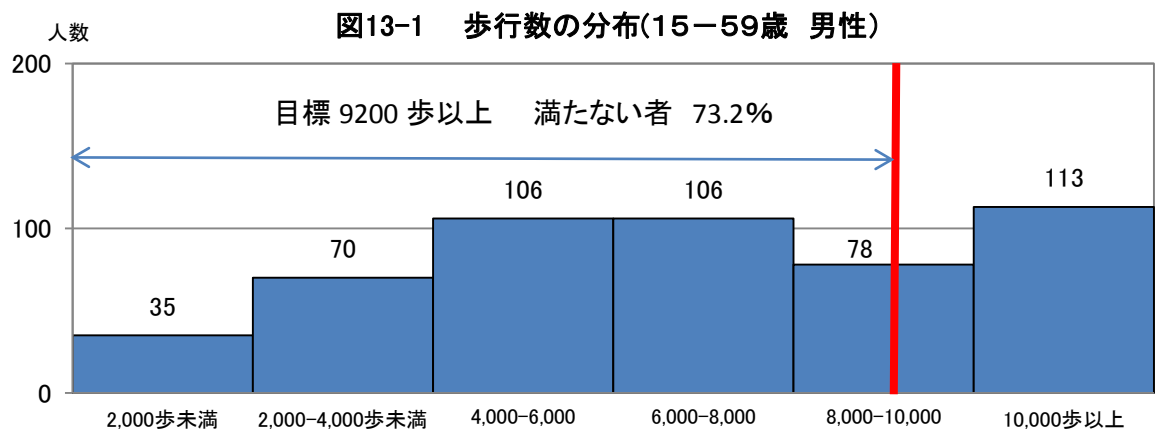
歩行数の平均値については、成人男性では 7,006 歩、成人女性では 6,123 歩となっています。北海道と全国平均を比較すると、特に 15～19 歳、20～29 歳では、男女とも全国平均よりも少ない傾向にあります。



全国：H21 国民健康・栄養調査報告書

誤差線は標準誤差(全国は公表された標準偏差から計算した値であり参考値)





## 2 運動習慣の状況

運動習慣のある者は、成人男性では 39.1%、成人女性で 34.5%となっており、全国平均よりも高い傾向にあります。

